

	性能・仕様等					6 既存住宅の扱い	推進施策
	1 断熱性能(5地域での数値を記載)	2 気密性能	3 省エネ性能	4 再エネ性能	5 その他		
国のZEH基準	・UA値0.60		再生可能エネルギー分を除き、 ・一次エネ△20%	再生可能エネルギーを導入し、エネルギー収支をゼロにすることを基本とする。 (ゼロに近付けた「Nearly ZEH」、再生可能エネルギー分を計算しない「ZEH Oriented」の基準もある)			
先進地事例	・UA値 レベルⅠ(0.48) レベルⅡ(0.34) レベルⅢ(0.23) (山形県、新潟県、鳥取県)	隙間相当面積 1cm ² /m ² 以下 (北海道、長野県、新潟県、鳥取県) +結露防止対策 (長野県)	再生可能エネルギー分を除き、 ・標準(一次エネ△20%) ・推奨(一次エネ△25%) ・先導(一次エネ△30%) (長野県)	・標準 (太陽光発電の場合3kw以上) ・推奨(家電を除き、ゼロエネ達成の太陽光発電設備or木質バイオマス設備) ・先導(家電を含み、ゼロエネ達成の太陽光発電設備or木質バイオマス設備) (長野県) 設置可能な場合は、原則導入 (新潟県)	①県産木材使用 ・標準(躯体3m ² 以上又は仕上30m ² 以上) ・推奨(0.12m ² /m ² 以上) ・先導(0.15m ² /m ² 以上) ②太陽光発電又は木質バイオマス暖房設置 ③耐震性能 ・標準(建築基準×1.25) ・推奨・先導(建築基準×1.5) ④景観・周辺環境との調和 軒高7m以下ほか (長野県)	住宅改修の基準あり (鳥取県)	・補助金(宮城県、山形県、東京都、長野県、新潟県、鳥取県) ・認証制度(山形県、東京都、鳥取県) ・事業者登録制度(北海道、山形県、鳥取県) ・技術講習会開催(北海道、新潟県、鳥取県) ・現場見学会開催(北海道等)
富山県							・補助金(省エネ改修) 補助額:最大120万円 R4実績:6件(約111万円) R5予算:2,400万円
富山県の現状	・部屋間の温度差が生じやすい ・ヒートショックが疑われる入浴中の事故が多い		・CO2排出量が全国4位(全国平均の約1.5倍) ・ZEHに取り組む割合が全国より低い	・ZEHに取り組む割合が全国より低い ・条件の不利な地域というイメージから太陽光発電が普及しにくい	・一戸建ての割合が高い ・既存の一戸建ては約30万戸(H30)で、近年の年間新設住宅は約3~4千戸 ・補助制度が多岐にわたり、事業者・消費者が混乱 ・施工業者の多くが県内のハウスメーカーや工務店		